

九州西北部の活力創造拠点となる 持続可能な伊万里市の発展に向けて

市議会第2回定例会（6月議会）で、深浦弘信市長が市政運営について所信表明を行いました。その一部を紹介します。

市長就任当初から一貫して進めてきたひとつの政策は、本市を希望ある未来へと導く一本道であり、これからの信念を持って真つ直ぐに取り組んでまいります。また、時代の変遷とともに新たな課題が数多く現れる中、これまでの堅実な行財政運営を基本としながらも、将来への布石にも積極的に投資する必要がありますと考えています。

市長が市政運営について所信表明を行いました。その一部を紹介します。

STEPの T

第2にステップ（STEP）のT、これは技術、テクノロジーのTです。

第4次産業革命の中核となるデジタル技術などのテクノロジーをまちづくりに活用し、未来を先取るデジタル都市を目指します。

STEPの E

第3にステップ（STEP）のE、これは経済、エコノミーのEです。

伊万里ブランドなど本市ならではの魅力の効果的な活用による産業の振興を図り、競争に打ち勝つ産業都市を目指します。

STEPの P

第4にステップ（STEP）のP、これは港、ポートのPです。

アジア諸国との近接性と平穏で深い水深を持つという強みを生かし、伊万里港のさらなる発展を図り、世界に向けた港湾都市を目指します。

この『いまりSTEP UP プロジェクト』を推進するためには、プロジェクトを支え



伊万里市長
深浦 弘信

る人材の確保と多様な世代の連携が不可欠となります。市内企業の大規模な設備投資やIT企業の立地により、移住・定住施策の推進に強い追い風が吹いており、この機を逃さないために、佐賀県と連携し、新たに『いまり暮らしスタート支援金』を創設するなどUIJターナー者への支援を拡充するほか、市民の皆さんの協力を得て、移住プロモーション活動を強化することにより、本市への若者世代の移住と定住の拡大を図ります。

若者の流出を少しでも食い止めるため、医療、福祉などの高等教育機関の誘致についても、関係者との協議を重ね、着実に前進させます。また、今日までの本市の発展を支えてこられた高齢者の皆さんを対象として、移動手段の確保や生きがいづくり、コミュニ

ティセンターにおける各種活動のための備品整備など、いつまでも元気に活躍していただくことができる地域づくりを進めていきます。

本市が将来にわたり持続可能な都市として成長を続けていくため、脱炭素社会の実現に向けた取り組みをはじめ、喫緊の課題である散弾銃射撃場の鉛汚染対策など、伊万里市版のSDGs（エス・ディー・ジーズ）の取り組みを進めていきます。

さまざまな施策をはじめ、私が掲げる市政運営の中長期的な方針については、民間のアイデアや資金の活用をはじめ、国や県、近隣自治体との連携などを念頭に置いて、市民の皆さんとの議論を深めながら、現在策定中の第6次総合計画後期基本計画に位置付け、着実に推進します。

『いまりSTEP UPプロジェクト』展開



支援、サポートのS

学校と地域が連携を深めるモデルとなる取り組み

▷東山代小学校とコミュニティセンター、留守家庭児童クラブの複合施設整備

教育環境の整備

▷学校トイレの洋式化、通学路の安全確保

学校給食センターの大規模な改修工事

▷安全安心な給食の提供、アレルギー対策を施した給食の提供

公園の計画的な整備や更新

▷障がいのある子どもとない子どもが一緒になって遊べる『インクルーシブ公園』の整備

▷老朽化が進む遊具などの改修

未来を託す子育て応援都市 伊万里



技術、テクノロジーのT

教育のデジタル化

▷プログラミング教育の推進、オンライン授業の実現

デジタル田園都市の構築に向けた取り組み

▷スマート農業の導入促進による省力化と生産コストの低減

▷ICTの活用促進による企業での業務の改善や生産性の向上

行政手続きのオンライン化

▷行政サービス提供の迅速化・効率化、地図情報など災害時に有用な情報のデータ化

若者のしごとづくりと絡めた市街地の賑わいづくり

▷市街地の空き店舗などを地域の資源として活用

▷IT企業などの事務系企業の誘致や起業

未来を先取るデジタル都市 伊万里



経済、エコノミーのE

農業の振興

▷原油価格や物価高騰の影響を受けた農業者への支援

伊万里ブランド産地の維持とさらなる振興

▷牛舎施設などの改修や伊万里産素牛の購入を支援

▷梨園における研修生の受け入れや園地の借り受けを支援

伊万里ブランドの強みを生かした交流人口の拡大

▷YouTube（ユーチューブ）やInstagram（インスタグラム）を活用したプロモーションの展開

▷大川内山をはじめとする観光地へのさらなる誘客

競争に打ち勝つ産業都市 伊万里



港、ポートのP

国際物流拠点としての地位の向上

▷2基目のガントリークレーンの整備や七ツ島大橋の完成による港湾機能の強化

浦ノ崎地区をはじめとする伊万里港の長期構想の策定

▷浦ノ崎地区廃棄物処理用地の活用

▷洋上風力発電に関係する企業などの誘致

世界に向けた港湾都市 伊万里



プロジェクトを支える人材の確保と多様な世代の連携

※次ページからは、主要な施策の概要と予算などについて、総合計画の6つのまちづくりの目標に沿って説明します。